



需要が高まる広葉樹製品に 対応してさらなる販路開拓を目指す

課題

加工における課題が多く 注文に対応できない

木材加工による木材チップや建築材の製造販売とともに、建築業も手がける株式会社シンラテック。近年では、林業にも参入し、地元の山林を購入し、自社で伐採も手がけている。これにより、自社で伐採から木材加工、施工を行うというサプライチェーンを独自に構築しており、付加価値の高い製品を製造できるのが強みだ。

同社のなかでも近年、成長しているのが広葉樹（シイノキなど）を使用した住宅用木材製品（フローリングや壁板などの内装用建材）。広葉樹製品の多くは輸入製品が占めるなか、同社の国産材は珍しく、木目がきれいで高級感があると評判。山口県内の工務店や自然素材を使った施設だけでなく、首都圏や関西圏などからも注文を受け、生産量を増やしている。

こうした需要が高まる一方で、広葉樹製品に使う素材は、表面が堅く、曲がりやすいという特性があり、加工における課題が多々あった。たとえば、「加工機械の刃がすぐに傷む」「仕上げに手作業での補修が必要」「工数が多く、納期までの時間もかかりコストも高い」など。こうしたことから、注文を断ることも多く、そして、工場内の生産指示や生産工程においても効率が悪い状態が続いていた。

高まる需要に対応し、市場拡大を狙うためには、新たな設備を導入するなどして生産性の向上を図る必要があった。

支援

ものづくり補助金などで 設備を導入して飛躍へ

ながと大津商工会では、小規模事業者持続化補助金や専門家派遣などを活用した販路拡大や、情報提供などで同社を支援してきた。

2018年には、広葉樹製品の加工性の悪さを解決し、販路開拓につなげるべく、経営革新計画の策定とともに、ものづくり補助金、さらに持続化補助金、先端設備等導入計画の策定を支援。設備を導入し、効率化を図り、注文に的確に対応できる体制づくりにつなげることができた。

なかでも、先端設備等導入計画による設備投資後3年間の固定資産税軽減は、同社にとって大きなメリットとなった。また、販路開拓や市場拡大に向けては専門家も交えた支援を



広葉樹を使った施工事例

実施。年間3000万円程度の売り上げアップを目標としている。

今後は、さまざまな需要に対して設備投資や販路開拓を実施することで業績の拡大が期待でき、海外にも販路を広げるために補助金などを活用することも考えられる。商工会では、専門家派遣も最大限に活用しながら、生産性の向上や販路開拓のサポートを続けていく。

支援の経過

期間	支援内容
2015年10月	持続化補助金の申請支援
2018年2月	経営革新計画の策定支援
4月	ものづくり補助金の申請支援
5月	持続化補助金の申請支援
7月	先端整備等導入計画の策定支援

会社概要

会社名：株式会社シンラテック
 住所：山口県長門市日置10758-131
 電話番号：0837-37-5001
 URL：http://www.sinlatech.com
 代表者名：代表取締役 近藤友宏
 創業年：1959年
 従業員数：19名
 商工会名・担当者名：ながと大津商工会・西村文孝